『がん化学療法中のがん患者における便秘に関する調査』 に対するご協力をお願い

研究の目的と意義	近年の制吐薬の進歩により、がん化学療法による悪心・嘔吐は大きく改善されました。その一方で、制吐剤は、腸管運動を抑制するため、がん化学療法中に便秘を発現することがあります。 本研究では、がん化学療法中のがん患者における便秘の発現状況を明らかにすることで、便秘の発現を未然に防ぐ対策を検討することを目的としています。
研究の方法	研究者が対象となる方のカルテ（診療録）を選び、がん化学療法を始めた当時の排便状況や下剤の使用状況、その後の経過についての記録を集計させていただきます。
対象者	2022年9月1日～2023年3月31日の間に、当院で悪性腫瘍と診断され、がん化学療法を実施した方のうち、制吐薬を投与した方
利用する試料/情報	抗癌剤治療開始時の年齢、性別、がん種、併存疾患、適応レジメン名、制吐薬使用の有無・制吐薬の種類、市販薬（整腸剤・下剤）の有無、薬歴（併用薬の有無）、オピオイド服用歴、下剤の処方（用法用量）、排便状況、便秘の発現状況、便秘のGrade、便秘の発現時期、便秘による予約外受診の有無、悪心・嘔吐の発現状況
利用する試料/情報の取得方法	診療録からデータを収集します
利用する試料/情報の管理責任者・住所	済生会横浜市東部病院 院長 〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1
研究組織	当院単独研究
試料/情報の院外提供	該当なし
結果公表	学会や薬学雑誌で発表
研究参加拒否・同意撤回	情報等を研究目的に利用されることを希望されない場合または一度研究参加に同意された後に同意を撤回される場合は、2023年6月30日までに下記の問い合わせ先にご連絡ください。
当院研究責任者	済生会横浜市東部病院 薬剤部/薬剤師/小島晴美
問い合わせ先	〒230-8765横浜市鶴見区下末吉3-6-1 電話045-576-3000(代表) 済生会横浜市東部病院 薬剤部/小島晴美